

学位授与方針 [修士(人間関係学)]

- 知識・理解
 - 人間の基本的特性について理解を深めていくために、個人や集団に関する理論的な枠組みを学習し、社会的・文化的諸課題に関する専門的知識を備える。
- 技能
 - 人間関係に係わる諸課題を見定め、調査・分析できる。
- 態度
 - 人間関係に係わる諸課題を見定め、整理し、実践的な対応策を提示できる。

教育課程編成・実施方針

社会システム研究科地域コミュニティ専攻では、教育目的を達成するため、以下の方針に基づき、教育課程を編成し、実施する。

- 教育課程は、「専攻共通科目」「専門基礎科目」「専門科目」「特別研究科目」の4つの科目区分で構成し、コースワークによって体系的に学習し、修了に必要な所定の単位30単位以上修得するものとする。また、幅広く学際的な知見を獲得していくため、所属する専攻以外の「専門基礎科目」及び「専門科目」の授業科目を履修し単位を修得することができる。

特に、地域コミュニティ専攻の学習においては、理論的視座に加え、社会の現場での実証的データに基づいた研究が求められるため、実験、観察、サーベイ調査、ケーススタディ、フィールドワークといった実証的な研究に必要な方法論のスキルを獲得していく。また、社会で働いている社会人が、自分の仕事を学問的立場から研究をしていくリカレント教育に重きを置いていることから、仕事の経験を生かした形で学ぶことができるように、今日の社会における諸問題を扱うことができる科目を配置する。

□ 専攻共通科目

現代の社会システム全般を対象として取り上げ、多領域的な視点からアプローチしていくことを学ぶための科目であり、コースワークの概論科目として「社会システム総合概論」を1年次1学期に開設する。2単位必修とする。

□ 専門基礎科目

各専攻分野に関する基礎的な専門知識や能力を習得させるための科目区分である。「コミュニティ理論」「コミュニティ実践」「フィールド文化」の3つの分野の科目群を配置している。1年次1学期から履修し、所属する専攻の科目群から6単位以上修得する。

<コミュニティ理論科目群>

今日の社会における様々な課題を考えていく上で必要不可欠となる人間存在の行動をもっとも根底において規定している人間の基本的特性について理解を深めていくことを狙いとして、個として人間の認知的基本特性、コミュニティにおける社会の形成、コミュニティにおけるコミュニケーション、コミュニティにおける学習の観点から、理論的な枠組みを学習する科目群である。専門基礎科目として、社会心理学、生涯学習論を配置している。

<コミュニティ実践科目群>

地域における実践的な課題として、教育現場や福祉現場の諸問題に関する理解を深め、子どもから高齢者まで、また障害や心理的問題を抱えた人に対する援助スキル、そしてコミュニティづくりに必要な社会的スキルを獲得していくための科目群である。専門基礎科目として、臨床心理学、社会福祉援助論、児童福祉論を配置している。

<フィールド文化科目群>

文化を都市や農村といった地域として捉えるだけではなく、環境を含めた地球規模で醸成されてきた人間の歴史的適応過程であり、ものの考え方や行為の仕方及びその所産であるとして捉え、多様な視点から現代社会の人間、文化、コミュニティの問題を捉えていく科目群である。特に、フィールドワーク研究の方法論的技法について学修をしていく。専門基礎科目として、人間環境学、文化社会学、都市社会学を配置している。

□ 専門科目

各専攻分野に関する専門的知識や能力を習得させるための科目区分である。「コミュニティ理論」「コミュニティ実践」「フィールド文化」の3つの分野の科目群を配置している。1年次2学期から2年次修了までの間に履修する。所属する専攻の科目群から6単位以上修得する。

<コミュニティ理論科目群>

専門科目として、コミュニケーション論、教育制度論を配置している。

<コミュニティ実践科目群>

専門科目として、臨床教育学、福祉コミュニティ論、高齢社会論、司法福祉論を配置している。

<フィールド文化科目群>

専門科目として、フィールドワーク論、臨床社会学、環境社会学を配置している。

□ 特別研究科目

自ら研究課題を設定し研究活動を遂行できる創造力、自立力を養成するための科目区分である。研究課題の設定から、論文の構想検討、中間発表、論文提出に至るプロセスを重視する。1年次2学期から2年次修了までの間に特別研究1、特別研究2、特別研究3を履修する。6単位必修とする。

また、特別研究1、2、3の準備段階として、研究の課題設定、研究計画の作成、研究の進め方、研究分野に関する学術論文等の講読指導など、論文作成の入門・基礎を学ぶ特別研究基礎を選択科目として配置している。

- 学会発表など優れた業績を上げ、優秀な修士論文を完成させて、修了に必要な所定の単位30単位以上を修得した場合、1年以上の在学があれば修了することができるものとする。

入学者受入方針

社会システム研究科地域コミュニティ専攻では、以下のような人を求めています。

- 生活の場である地域コミュニティに貢献する保健、福祉、教育等の専門職に従事し、リカレント教育の一環として学習を希望する社会人
- 地域における問題や課題を認識し、地域コミュニティが直面する問題を実践的に探求、解決しようとする意欲をもつ人
- すでに積み上げた一定のキャリアを一層専門的に向上させ、大学・短大などの教員または民間の研究施設の研究者を目指す社会人
- 心理学、社会学、社会福祉学、人類学、環境学、生涯学習学、教育学などの分野について関心を持ち、専門的研究を目指す人